



## 平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月12日  
上場取引所 東

上場会社名 ボーソー油脂株式会社  
コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 治男  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼企画経理部長 (氏名) 川崎 薫  
定時株主総会開催予定日 平成28年6月29日 配当支払開始予定日 平成28年6月30日  
有価証券報告書提出予定日 平成28年6月29日

TEL 047-433-5552  
平成28年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期の連結業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	19,301	1.7	57	△44.6	50	△66.4	15	△80.7
27年3月期	18,982	△6.5	104	—	151	—	78	—

(注) 包括利益 28年3月期 △16百万円 (—%) 27年3月期 129百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
28年3月期	0.96	—	0.4	0.5	0.3
27年3月期	4.98	—	1.8	1.3	0.5

(参考) 持分法投資損益 28年3月期 ー百万円 27年3月期 74百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期	10,684	4,225	39.5	267.65
27年3月期	11,188	4,320	38.6	273.69

(参考) 自己資本 28年3月期 4,222百万円 27年3月期 4,317百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期	△390	△231	1	1,120
27年3月期	961	△259	△189	1,740

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00	78	100.3	1.8
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00	78	520.1	1.9
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	—	—	—

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,700	△7.3	70	—	70	—	30	—	1.90
通期	18,000	△6.7	190	233.3	190	280.0	100	566.7	6.34

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無  
 (注)詳細は、添付資料P.14「5. 連結財務諸表(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

	28年3月期	16,060,000 株	27年3月期	16,060,000 株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期	284,452 株	27年3月期	282,844 株
② 期末自己株式数	28年3月期	15,776,896 株	27年3月期	15,778,589 株
③ 期中平均株式数				

(参考)個別業績の概要

1. 平成28年3月期の個別業績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期	18,445	1.7	46	△60.0	61	△49.2	33	△68.5
27年3月期	18,143	△6.4	115	—	120	—	106	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期	2.13	—
27年3月期	6.76	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期	9,633	4,231	43.9	268.23
27年3月期	10,112	4,308	42.6	273.10

(参考) 自己資本 28年3月期 4,231百万円 27年3月期 4,308百万円

2. 平成29年3月期の個別業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,400	△6.3	70	—	70	—	40	—	2.54
通期	17,200	△6.7	180	291.3	190	211.5	120	263.6	7.61

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP.2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
(4) 事業等のリスク .....	3
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 会社の対処すべき課題 .....	5
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
5. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	13
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	15
(開示の省略) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
6. 個別財務諸表 .....	16
(1) 貸借対照表 .....	16
(2) 損益計算書 .....	18
(3) 株主資本等変動計算書 .....	19
7. その他 .....	21
(1) 役員の変動 .....	21
(2) 販売実績 .....	21

## 1.経営成績・財政状態に関する分析

### (1)経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の金融緩和を背景として企業収益の改善が見られ、設備投資の増加や雇用環境が改善を示すなど穏やかな回復基調で推移いたしました。一方で、生活必需品の物価上昇などから個人消費の回復力は弱く、新興国経済の減速の影響も懸念されるなど、その先行きは依然として不透明な状況となりました。

植物油業界におきましては、主要原料のカナダ菜種の市場価格が高止まりするとともに、円安の進行を受けて調達コストが増加したため、適正な販売価格への改定が大きな課題となりましたが、競争が激化するなかで十分な改定が進まず、加えて油脂製品の連産品である油粕価格が需給要因から低迷するなど大変厳しい経営環境となりました。

こうした状況のなかで、当社グループでは、顧客ニーズにマッチしたきめ細かな営業活動を展開し、販売数量につきましては、業務用食用油は減少いたしました。家庭用食用油はコメ油を中心に大きく伸長し、油粕製品につきましても生産に合わせた適切な販売数量を確保することができ、せっけん・化粧品につきましても増加を図ることができました。

なお、売上高につきましては、油脂製品は販売価格の上昇から、せっけん・化粧品は販売数量の増加により前年同期を上回りましたが、油粕製品が販売価格の低下を主因として減少したため、全体では概ね前年並みの着地となりました。

収益面につきましては、上期に営業損失 1 億 7 百万円、経常損失 1 億 1 百万円の赤字を計上しましたが、全社的なコスト抑制に取り組むなかで、家庭用食用油の大幅な売り上げ伸長や燃料価格の低下などから、第3四半期以降の期間収益は黒字転換を図ることができ、第4四半期には累積でも黒字回復の運びとなりました。

その結果、当連結会計年度における営業成績は、売上高は 193 億 1 百万円(前年同期は 189 億 82 百万円)、営業利益 57 百万円(前年同期は営業利益 1 億 4 百万円)、経常利益 50 百万円(前年同期は経常利益 1 億 51 百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益 15 百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益 78 百万円)となりました。

次期の見通しにつきましては、わが国経済は、政府による経済対策効果などに支えられ、穏やかに回復していくことが期待されますが、新興国や資源国の景気下振れの可能性や生活費上昇に伴う消費マインドの悪化など懸念材料も多く、今しばらく不透明な状況が続くものと思われまます。

油脂業界におきましては、足元では円高基調に伴い原料事情の改善が期待されますが、海外油脂原料市場価格は上昇傾向にあり、食用油需要が伸び悩むなかで製品価格が低下傾向にあることから引き続き厳しい収益環境が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、このような情勢に対処するため、原料コストに見合った適正な価格形成に粘り強く取り組むとともに、顧客ニーズにマッチした製品の開発と提供、小売製品を中心とした付加価値製品の拡販、加えて生産効率の向上や不採算事業の見直し、業務全般にわたるコストダウン施策の徹底により業績の向上に励む所存でございます。

これにより平成 29 年 3 月期の業績見通しにつきましては、売上高 180 億円(前年同期は 193 億 1 百万円)、営業利益 1 億 90 百万円(前年同期は営業利益 57 百万円)、経常利益 1 億 90 百万円(前年同期は経常利益 50 百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益 1 億円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益 15 百万円)を見込んでおります。

### (2)財政状態に関する分析

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末比 5 億 4 百万円減少の 106 億 84 百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末比 4 億 8 百万円減少の 64 億 58 百万円となりました。主な要因は仕入債務の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比 95 百万円減少の 42 億 25 百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する当期純利益を 15 百万円計上し、配当金の支払いを 78 百万円おこなったこと、その他有価証券評価差額金が 31 百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当社グループの現金及び現金同等物は、期首残高より6億20百万円減少しましたので現金及び現金同等物期末残高は、11億20百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当期の営業活動の結果使用した資金は3億90百万円(前年同期は9億61百万円の獲得)となりました。主な増加の理由は、税金等調整前当期純利益52百万円の計上、減価償却費の計上額3億58百万円、主な減少の理由は、売上債権の増加額1億52百万円、たな卸資産の増加額78百万円、仕入債務の減少額5億63百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当期の投資活動の結果使用した資金は2億31百万円(前年同期は2億59百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当期の財務活動の結果獲得した資金は1百万円(前年同期は1億89百万円の使用)となりました。これは主に借入金による収入と配当金の支払によるものであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
自己資本比率(%)	38.2	39.1	38.6	39.5
時価ベースの自己資本比率(%)	18.6	20.2	25.1	23.5
債務償還年数(年)	—	3.7	2.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	13.0	22.1	—

※ 自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

債務償還年数:有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1.各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2.株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により計算しております。

3.営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4.利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

5.平成25年3月期及び平成28年3月期の営業キャッシュ・フローがマイナスのため債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、長期的な観点より内部留保の充実を図り、経営基盤の強化に努めるとともに、安定的な配当の継続を基本方針としております。

なお、当期の配当につきましては、継続的な安定配当の基本方針のもと、当期の期末配当金は1株当たり5円を予定しております。また、次期の期末配当金は1株当たり5円を予定しております。

(4) 事業等のリスク

①原料・為替相場の変動について

製油産業においては、大豆・菜種等の原料穀物のほとんどを海外から調達しており、原料コストは為替相場の影響を受けます。また、これらの穀物の相場は生産地の天候・需給バランスなどの要因により大きく変動し、原料・為替相場の変動に伴うコストアップを製品に転嫁できない場合、当社グループの業績及び財政状態は悪影響を受ける可能性があります。

②食品の安全について

食品の品質及び安全性への社会的関心がかつてないほど高まっており、より一層厳格な対応が求められるようになっております。当社におきましては、ISOの国際品質規格を取得するとともに、厳しい品質管理体制を構築しており、今後とも品質管理体制をより一層強化し、安全性への確保に努めてまいります。しかしながら、予想を超える重大な品質問題が発生し、当社グループの品質評価にも重大な影響を受ける可能性があり、売上高の減少により、当社グループの業績及び財政状態は悪影響を受ける可能性があります。

③地震等による自然災害について

当社グループの生産設備を有している各地域において、大規模な地震等が発生した場合には、生産設備の破損あるいは事業活動の中断などにより、当社及び当社グループの業績、財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

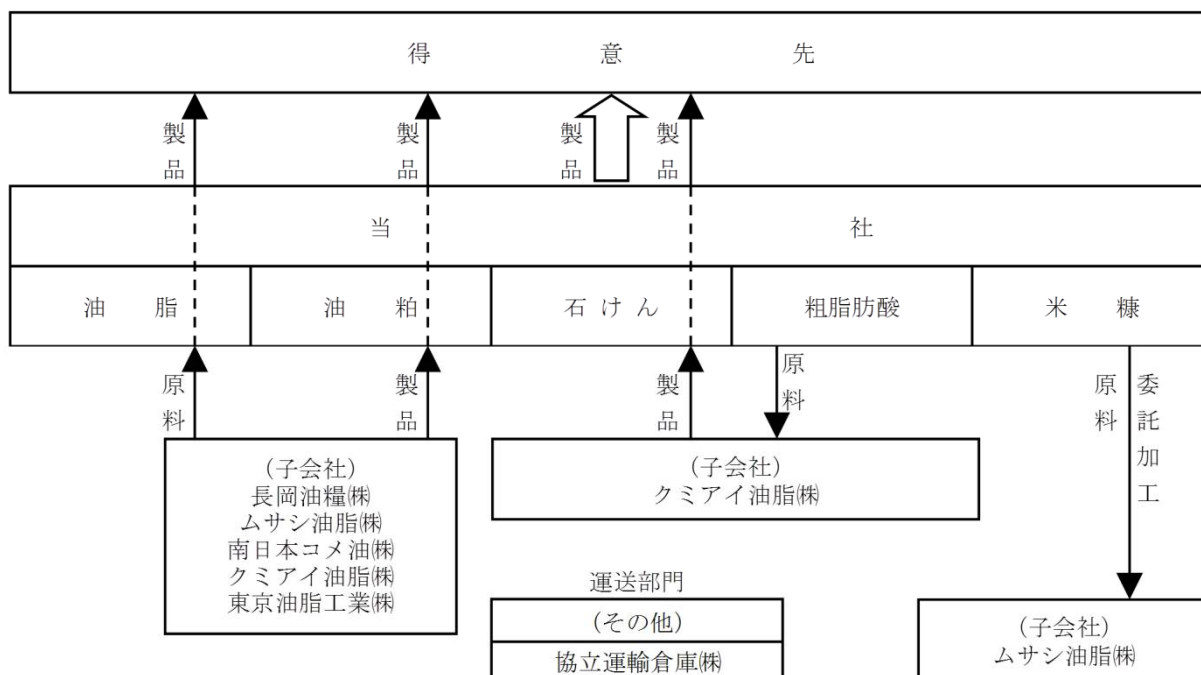
2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、子会社5社、及びその他1社で構成され、植物油、飼料、石けんの製造販売を行っております。

当社グループの事業に係わる位置づけは次のとおりであります。

- 植物油(食用油) … 当社が製造販売しております。
- 植物油(原油) … 当社の最終製品である上記食用油の原料となる原油を、当社が製造するほか、ムサシ油脂(株)に原料(米糠)委託加工しており、また、長岡油糧(株)、ムサシ油脂(株)、クマイ油脂(株)、南日本コメ油(株)、東京油脂工業(株)から仕入れております。
- 油粕(飼料) … 当社が製造販売するほか、ムサシ油脂(株)に委託加工しており、また、長岡油糧(株)、ムサシ油脂(株)、クマイ油脂(株)、南日本コメ油(株)、東京油脂工業(株)から仕入れております。
- 石けん … クマイ油脂(株)が当社より原料を購入し、石けんを製造し、一部の販売を除いて当社が仕入販売をしております。
- その他 … 当社の原料、製品の倉庫管理業務及び当社グループの製品等の運送業務については、協立運輸倉庫(株)に委託しております。

事業の系統図は次の通りであります。



### 3. 経営方針

#### (1)会社の経営の基本方針

当社グループは、唯一の国内産ともいべき米糠を原料として生産されるコメ油をはじめとしてナタネ油、コーン油など国民生活にとって重要な植物性食用油を製造・販売することにより、より豊かで、より健康的な国民生活に資することをモットーとして経営に当たっております。従いまして、当社グループとして「安全で信頼性の高い食用植物油およびその関連製品を提供することにより、生産・販売からアフターサービスに至るまで提供した製品に対して顧客が長く満足感のもてる品質を保証する」ことを社是としております。

#### (2)目標とする経営指標

当社グループは積極的な商品開発や高品質で顧客満足度の高いサービスの提供を行い、コメ油を基軸とする食用油メーカーとしての地位の確立を図り、絶えず発展、進化していく企業グループでありたいと考えております。また、継続的な事業運営及び経営の安定化には不可欠な株主様への還元の維持から、目標利益レベルにつきましては、経常利益 2 億円とし、その実現を目指してまいります。

#### (3)会社の対処すべき課題

今後につきましては、逼迫感を強める世界の油脂原料需給動向のなかで、引き続き厳しい経営環境にあるものと認識しており、このような情勢に対処するため、ユーザーのニーズにすばやく対応すべく、更なる技術力の向上とより競争力のある商品の研究開発を目指して技術部門の強化を図るとともに、販売価格の改定に努めながら生産効率の向上、コストの低減など推し進め業績の向上に励む所存でございます。

### 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

5. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,802,849	1,179,131
受取手形及び売掛金	3,525,416	3,677,797
商品及び製品	585,051	597,693
仕掛品	310,441	438,890
原材料及び貯蔵品	748,902	686,288
繰延税金資産	66,976	55,215
その他	98,339	91,814
貸倒引当金	△3,938	△4,216
流動資産合計	7,134,039	6,722,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,502,075	2,602,829
減価償却累計額	△2,002,892	△2,052,956
建物及び構築物 (純額)	499,182	549,872
機械装置及び運搬具	9,561,406	9,731,376
減価償却累計額	△8,396,136	△8,609,392
機械装置及び運搬具 (純額)	1,165,269	1,121,983
工具、器具及び備品	139,692	152,140
減価償却累計額	△129,188	△132,855
工具、器具及び備品 (純額)	10,504	19,284
土地	1,519,067	1,550,083
リース資産	37,967	25,614
減価償却累計額	△30,344	△19,009
リース資産 (純額)	7,622	6,605
建設仮勘定	107,926	12,120
有形固定資産合計	3,309,573	3,259,950
無形固定資産		
ソフトウェア	21,936	10,952
借地権	24,638	24,418
その他	1,977	1,960
無形固定資産合計	48,552	37,331
投資その他の資産		
投資有価証券	266,823	216,579
繰延税金資産	81,036	93,412
その他	348,339	354,400
投資その他の資産合計	696,199	664,393
固定資産合計	4,054,325	3,961,675
資産合計	11,188,365	10,684,290



ポーソー油脂株式会社(2608)平成28年3月期 決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,413,894	2,850,360
短期借入金	947,000	1,072,000
1年内返済予定の長期借入金	388,900	367,850
リース債務	3,736	2,435
未払法人税等	13,359	13,711
未払消費税等	49,253	21,707
未払費用	253,854	255,131
賞与引当金	90,038	90,713
その他	127,190	239,188
流動負債合計	5,287,227	4,913,099
固定負債		
長期借入金	747,000	728,550
退職給付に係る負債	557,762	563,495
役員退職慰労引当金	76,466	50,559
リース債務	4,291	4,576
繰延税金負債	192,703	198,590
負ののれん	2,152	-
固定負債合計	1,580,375	1,545,771
負債合計	6,867,603	6,458,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,082,671	2,018,954
自己株式	△49,975	△50,241
株主資本合計	4,198,592	4,134,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,385	87,697
その他の包括利益累計額合計	119,385	87,697
非支配株主持分	2,783	3,112
純資産合計	4,320,762	4,225,419
負債純資産合計	11,188,365	10,684,290

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
売上高	18,982,935	19,301,403
売上原価	16,831,538	17,219,052
売上総利益	2,151,397	2,082,350
販売費及び一般管理費		
運送費	980,133	991,341
給料及び手当	306,883	304,250
賞与引当金繰入額	58,696	70,523
退職給付費用	48,187	27,210
役員退職慰労引当金繰入額	2,774	2,208
福利厚生費	79,983	70,377
特売費	40,884	46,316
広告宣伝費	39,043	35,078
賃借料	100,545	102,781
減価償却費	21,370	22,926
その他	368,375	351,412
販売費及び一般管理費合計	2,046,878	2,024,429
営業利益	104,519	57,920
営業外収益		
受取利息	413	252
受取配当金	5,009	7,352
受取手数料	2,468	2,148
受取補償金	823	1,504
負ののれん償却額	2,152	2,152
持分法による投資利益	74,646	-
受取保険金	-	17,936
その他	18,394	10,107
営業外収益合計	103,908	41,453
営業外費用		
支払利息	43,826	42,615
支払手数料	11,273	4,341
その他	2,134	1,553
営業外費用合計	57,234	48,510
経常利益	151,192	50,863
特別利益		
固定資産売却益	-	1,498
投資有価証券売却益	-	2,482
特別利益合計	-	3,981
特別損失		
固定資産除却損	4,242	2,349
投資有価証券評価損	15,239	-
特別損失合計	19,482	2,349
税金等調整前当期純利益	131,710	52,495
法人税、住民税及び事業税	20,830	11,364
法人税等調整額	32,032	25,632
法人税等合計	52,862	36,997
当期純利益	78,847	15,497
非支配株主に帰属する当期純利益	215	328
親会社株主に帰属する当期純利益	78,632	15,168

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
当期純利益	78,847	15,497
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,409	△31,688
その他の包括利益合計	50,409	△31,688
包括利益	129,256	△16,190
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	129,041	△16,519
非支配株主に係る包括利益	215	328

ポーソー油脂株式会社(2608)平成28年3月期 決算短信

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,351,300	814,596	2,082,938	△49,584	4,199,250
当期変動額					
剰余金の配当			△78,898		△78,898
親会社株主に帰属する当期純利益			78,632		78,632
自己株式の取得				△391	△391
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△266	△391	△657
当期末残高	1,351,300	814,596	2,082,671	△49,975	4,198,592

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	68,976	68,976	2,568	4,270,795
当期変動額				
剰余金の配当				△78,898
親会社株主に帰属する当期純利益				78,632
自己株式の取得				△391
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	50,409	50,409	215	50,624
当期変動額合計	50,409	50,409	215	49,966
当期末残高	119,385	119,385	2,783	4,320,762

ポーソー油脂株式会社(2608)平成28年3月期 決算短信

当連結会計年度(自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,351,300	814,596	2,082,671	△49,975	4,198,592
当期変動額					
剰余金の配当			△78,885		△78,885
親会社株主に帰属する当期純利益			15,168		15,168
自己株式の取得				△265	△265
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△63,717	△265	△63,982
当期末残高	1,351,300	814,596	2,018,954	△50,241	4,134,610

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	119,385	119,385	2,783	4,320,762
当期変動額				
剰余金の配当				△78,885
親会社株主に帰属する当期純利益				15,168
自己株式の取得				△265
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31,688	△31,688	328	△31,359
当期変動額合計	△31,688	△31,688	328	△95,342
当期末残高	87,697	87,697	3,112	4,225,419

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	131,710	52,495
減価償却費	355,019	358,184
固定資産除却損	4,242	2,349
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,239	-
負ののれん償却額	△2,152	△2,152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△525	278
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	40,910	5,732
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,247	△25,906
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,746	674
持分法による投資損益 (△は益)	△4,420	-
受取利息及び受取配当金	△5,423	△7,604
受取保険金	-	△17,936
固定資産売却損益 (△は益)	-	△1,498
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△2,482
支払利息	43,826	42,615
売上債権の増減額 (△は増加)	472,937	△152,380
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△313,791	△78,476
仕入債務の増減額 (△は減少)	372,742	△563,534
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,267	△27,546
その他の資産の増減額 (△は増加)	△39,214	9,440
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13,179	45,652
小計	1,031,662	△362,097
利息及び配当金の受取額	5,423	7,604
保険金の受取額	-	17,936
利息の支払額	△43,409	△42,382
法人税等の支払額	△32,179	△11,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	961,495	△390,538
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△87,060	△113,460
定期預金の払戻による収入	87,060	117,060
投資有価証券の取得による支出	△1,498	△1,806
投資有価証券の売却による収入	-	2,482
有形固定資産の取得による支出	△255,091	△221,420
有形固定資産の売却による収入	-	1,498
無形固定資産の取得による支出	△24,638	△3,539
関係会社の整理による収入	12,500	-
貸付けによる支出	△9,500	-
貸付金の回収による収入	9,500	-
その他	9,305	△12,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,423	△231,543
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	125,000
長期借入れによる収入	327,000	352,000
長期借入金の返済による支出	△422,900	△391,500
自己株式の取得による支出	△391	△265
配当金の支払額	△78,847	△78,854
その他	△4,451	△4,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,590	1,963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	512,482	△620,117
現金及び現金同等物の期首残高	1,228,307	1,740,789
現金及び現金同等物の期末残高	1,740,789	1,120,671

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 5社

連結子会社の名称

長岡油糧(株)、クマイ油脂(株)、ムサシ油脂(株)、南日本コメ油(株)、東京油脂工業(株)

2. 持分法の適用に関する事項

該当ありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の期末決算日は、期末連結決算日と一致しております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

①有価証券

その他の有価証券

時価のあるもの

連結会計年度の末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法(月別)により算定)

時価のないもの

総平均法(月別)に基づく原価法によっております。

②たな卸資産

総平均法(月別)による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により評価しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

①有形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

②無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額を計上しております。

③役員退職慰労引当金

当社及び一部の連結子会社は、役員の退職慰労金制度を平成19年6月開催の定時株主総会終結の時をもって廃止し、これまでの在任期間に応じた退職慰労金を計上しております。当該引当金残高は、各役員の退職時に支給し、取崩すことしております。なお、役員退職慰労金規程のある連結子会社は、支給内規に基づく期末要支給額相当額を計上しております。

(4)退職給付に係る会計処理の方法

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における見込額に基づき、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を計上しております。

(5)のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、10年間の均等償却を行っております。

(6)連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(7)その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税および地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当連結会計年度の費用として処理しております。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当連結会計年度から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当連結会計年度の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する連結会計年度の連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、当期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。



(セグメント情報等)

セグメント情報

前連結会計年度(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)及び当連結会計年度(自平成27年4月1日至平成28年3月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を越えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)		当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
1株当たり純資産額	273.69円	1株当たり純資産額	267.65円
1株当たり当期純利益金額	4.98円	1株当たり当期純利益金額	0.96円

(注)1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	78,632	15,168
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益金額(千円)	78,632	15,168
期中平均株式数	15,778,589	15,776,896

(開示の省略)

連結貸借対照表関係、連結損益計算書関係、連結包括利益計算書関係、連結株主資本等変動計算書関係、連結キャッシュ・フロー計算書関係、関連当事者情報、企業結合等関係、退職給付関係、税効果会計関係、リース取引関係、金融商品関係、デリバティブ取引関係、有価証券関係、ストック・オプション等関係に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略いたします。

なお、上記の注記事項は、平成28年6月29日に提出予定の当社の「第88期有価証券報告書(平成27年4月1日から平成28年3月31日)」をご覧ください。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,385,713	687,372
受取手形	556,171	376,962
売掛金	2,909,359	3,259,786
商品及び製品	462,447	484,476
仕掛品	307,228	436,514
原材料及び貯蔵品	669,718	602,323
前払費用	38,240	28,518
短期貸付金	254,300	272,800
繰延税金資産	58,472	45,827
その他	61,295	47,810
貸倒引当金	△4,091	△4,406
流動資産合計	6,698,856	6,237,985
固定資産		
有形固定資産		
建物	105,365	171,226
構築物	120,114	122,704
機械及び装置	790,124	737,597
車両運搬具	581	2,664
工具、器具及び備品	4,404	13,186
土地	400,915	400,915
リース資産	3,491	5,289
建設仮勘定	103,056	4,716
有形固定資産合計	1,528,052	1,458,300
無形固定資産		
工業所有権	17	0
ソフトウェア	21,516	10,701
借地権	24,638	24,418
無形固定資産合計	46,172	35,120
投資その他の資産		
投資有価証券	266,823	216,579
関係会社株式	963,995	963,995
出資金	3,500	3,500
長期貸付金	234,400	331,600
保険積立金	207,162	217,464
繰延税金資産	77,293	87,229
その他	86,667	81,901
貸倒引当金	△258	△365
投資その他の資産合計	1,839,583	1,901,906
固定資産合計	3,413,809	3,395,327
資産合計	10,112,665	9,633,313

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	221,043	243,116
買掛金	3,426,639	2,841,827
短期借入金	331,000	466,000
1年内返済予定の長期借入金	316,900	302,500
リース債務	780	1,460
未払金	30,405	72,591
未払法人税等	11,317	8,163
未払消費税等	20,454	8,424
未払費用	249,976	249,345
賞与引当金	68,512	68,785
その他	43,022	83,300
流動負債合計	4,720,051	4,345,515
固定負債		
長期借入金	620,100	595,000
リース債務	2,990	4,251
退職給付引当金	417,108	424,308
役員退職慰労引当金	43,674	32,772
固定負債合計	1,083,873	1,056,332
負債合計	5,803,924	5,401,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金		
資本準備金	814,596	814,596
資本剰余金合計	814,596	814,596
利益剰余金		
利益準備金	65,500	65,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	76,000	76,000
別途積立金	1,328,000	1,328,000
繰越利益剰余金	603,934	558,611
利益剰余金合計	2,073,434	2,028,111
自己株式	△49,975	△50,241
株主資本合計	4,189,355	4,143,767
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119,385	87,697
評価・換算差額等合計	119,385	87,697
純資産合計	4,308,741	4,231,464
負債純資産合計	10,112,665	9,633,313

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
売上高	18,143,246	18,445,618
売上原価	16,287,815	16,683,096
売上総利益	1,855,431	1,762,522
販売費及び一般管理費	1,740,181	1,716,411
営業利益	115,250	46,110
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,404	17,769
受取手数料	21,100	25,917
雑収入	9,332	5,065
営業外収益合計	46,836	48,753
営業外費用		
支払利息	29,684	28,721
雑損失	12,219	5,104
営業外費用合計	41,904	33,825
経常利益	120,182	61,037
特別利益		
関係会社清算益	70,226	-
投資有価証券売却益	-	2,482
特別利益合計	70,226	2,482
特別損失		
固定資産除却損	3,041	808
投資有価証券評価損	15,239	-
特別損失合計	18,281	808
税引前当期純利益	172,127	62,711
法人税、住民税及び事業税	12,334	6,077
法人税等調整額	53,092	23,070
法人税等合計	65,426	29,148
当期純利益	106,701	33,563

ポーソー油脂株式会社(2608)平成28年3月期 決算短信

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計		配当準備積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	1,351,300	814,596	814,596	65,500	76,000	1,328,000	576,132	2,045,632
当期変動額								
剰余金の配当							△78,898	△78,898
当期純利益							106,701	106,701
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	27,802	27,802
当期末残高	1,351,300	814,596	814,596	65,500	76,000	1,328,000	603,934	2,073,434

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△49,584	4,161,944	68,976	68,976	4,230,920
当期変動額					
剰余金の配当		△78,898			△78,898
当期純利益		106,701			106,701
自己株式の取得	△391	△391			△391
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			50,409	50,409	50,409
当期変動額合計	△391	27,411	50,409	50,409	77,820
当期末残高	△49,975	4,189,355	119,385	119,385	4,308,741

ポーソー油脂株式会社(2608)平成28年3月期 決算短信

当事業年度（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					配当準備積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	1,351,300	814,596	814,596	65,500	76,000	1,328,000	603,934	2,073,434
当期変動額								
剰余金の配当							△78,885	△78,885
当期純利益							33,563	33,563
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	△45,322	△45,322
当期末残高	1,351,300	814,596	814,596	65,500	76,000	1,328,000	558,611	2,028,111

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△49,975	4,189,355	119,385	119,385	4,308,741
当期変動額					
剰余金の配当		△78,885			△78,885
当期純利益		33,563			33,563
自己株式の取得	△265	△265			△265
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			△31,688	△31,688	△31,688
当期変動額合計	△265	△45,588	△31,688	△31,688	△77,276
当期末残高	△50,241	4,143,767	87,697	87,697	4,231,464

**6.その他**

(1) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

退任予定取締役

常務取締役 ふなもと 舟本 もとみ 元美(顧問 就任予定)

取締役相談役 なんば 難波 かつゆき 克行

③ 退任予定日

平成28年6月29日

(2) 販売実績

(単位:千円)

部門別	前連結会計年度		当連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比
油脂部門	13,124,172	69.2	14,005,143	72.6
油粕部門	5,019,800	26.4	4,445,575	23.0
石けん・化粧品部門	631,923	3.3	649,996	3.4
その他の部門	207,039	1.1	200,687	1.0
合計	18,982,935	100.0	19,301,403	100.0